

上伊那農業高等学校（全日制）	
設置学科	農業科



I スクールミッション（期待される社会的役割）

生命に問いかけ、自分で考え、実践で表現する農業学習をとおして、自分の生き方をデザインし、豊かな人間性とグローバルな視点を持った生徒を育成します。さらに、その学習を自分にとどめることなく、伊那谷地域の皆さんと協働して地域の課題に取り組む探究的な行動をとおして、伊那谷を一層活力ある地域にデザインできる生徒を育成します。

II 「3つの方針」（スクール・ポリシー）

1 生徒育成方針

- 主体的に生命と向き合い、生命に問う学びをとおして、自分の人生をデザインできる生徒
- 伊那谷で活動する学びをとおして、活力ある伊那谷をデザインするチャレンジ精神あふれる生徒

【上農ではぐくむ4つのチカラ】

- ・ 基礎学力 新たに学んだり、科学的に考えたりするときの基礎となるチカラ
- ・ 表現力 自分でよく考え、それを適切な手段でみんなに伝えるチカラ
- ・ 課題解決力 みんなの意見を聞き、みんなで分析して課題を解決していくチカラ
- ・ 実践力 探究心と好奇心をもって主体的に活動し、みんなでやり遂げようとするチカラ

2 教育課程編成・実施方針

3年間クラス替えを行わず、普通教科の授業はこのクラスで実施します。

専門コースを決めたら、農業教科の授業はコースに分かれて実施します。

クラス集団とコース集団の関わり合いの中で、多様な友達との関わりを実現します。

【普通教科の特徴】 3年次の「課題研究」につなげるため、中学で身につけた基礎の上に丁寧に学びます。数学・英語・3年の国語では、クラスを少人数に分けて基礎となるチカラを習得します。

【農業教科の特徴】 入学後に農業学習の基礎・基本を学びつつ8コースを体験し、自分のコースを選択します。

1年3学期から、コースの教材を探究心と好奇心をもって調べ、伝える学びへと発展します。3年ではそれまでの学びを融合させつつ伊那谷のみなさんと協働し、上農の学びの集大成としての「課題研究」で地域の課題発見と課題解決に向けた取り組みを行います。

【評価】 生命と向き合ったり、地域の方々と話し合ったりする上農の学びは、授業に加えてそれ以外の時間でも行います。試験は定期考査に加えて授業の中でも行い、授業ノートなどの大切な課題があります。これらを総合的に判断して評価します。

3 生徒募集方針

中学校で行っているような普通教科も含めた教室での学びも、農場や伊那谷に出て行う学びも、両方を大切にできるみなさんを待っています。

学校や伊那谷でおとなが何をしてくれるのか待つのではなく、自分からすすんで学ぼうとする目的意識をもったみなさんを待っています。